

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公開番号】特開2010-220467(P2010-220467A)

【公開日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-039

【出願番号】特願2010-60076(P2010-60076)

【国際特許分類】

H 02 J 17/00 (2006.01)

H 02 J 7/00 (2006.01)

【F I】

H 02 J 17/00 A

H 02 J 7/00 303 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月29日(2013.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

詰替補給容器から供給材を小出しする、ワイヤレス給電式ディスペンサであって、

流体連通状態に前記詰替補給容器と連結するよう適合されたポンプと、

電力受信器と、

前記ポンプおよび前記電力受信器に接続されたコントローラと、

前記コントローラに接続された設置位置指示器と、

前記コントローラに接続されたアクチュエータとを備えた

ディスペンサと、

前記電力受信器によって受信されるワイヤレス電力信号を生成する電力送信モジュールとを備え、

前記設置位置指示器が、前記ワイヤレス電力信号が前記ディスペンサを作動するのに十分な電力量を有するか否か表示すると、前記アクチュエータが作動されたときに前記ポンプが前記詰替補給容器から前記供給材を小出しにし、

前記電力受信器により前記ワイヤレス電力信号を受信すると、前記アクチュエータが作動されたときに前記ポンプが前記詰替補給容器から前記供給材を小出しするように前記コントローラに電力が供給されるディスペンサ。

【請求項2】

前記電力送信モジュールが、AC(交流)電力を前記ワイヤレス電力信号に変換する、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項3】

前記電力送信モジュールが、保持する電池から前記ワイヤレス電力信号を生成する、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項4】

前記電力受信器が、前記ワイヤレス電力信号をDC(直流)電力に変換する、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項5】

前記電力送信モジュールおよび前記電力受信器が、別個の筐体内で保持される、請求項

1に記載のディスペンサ。

【請求項6】

前記電力受信器および前記コントローラに接続された電池を備え、前記ワイヤレス電力信号が前記電池を充電する、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項7】

前記電力送信モジュールが、前記持ち運び可能な電源が充電されたときに前記ワイヤレス電力信号の送信を止め、前記持ち運び可能な電源の充電が予め定められた値を下回ったときに前記ワイヤレス電力信号の送信を再開する、請求項5に記載のディスペンサ。

【請求項8】

前記アクチュエータが手感知センサを備える、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項9】

前記ワイヤレス電力信号が、赤外線信号、エバネセント波結合信号、誘導結合信号、誘導結合信号、又は、容量結合信号からなる群から選択される1つの信号タイプを含む、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項10】

前記電力送信モジュールが、少なくとも1つの他の送信された信号との干渉を防ぐ前記電力送信信号の形式を定める、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項11】

前記電力送信モジュールが、ワイヤレス通信基地局を備える、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項12】

前記電力送信モジュールが、ワイヤレス通信ネットワークを備える、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項13】

前記電力送信モジュールが、持ち運び可能なモジュール電源を有する、請求項1に記載のディスペンサ。

【請求項14】

前記電力送信モジュールと前記電力受信器が、別個の筐体内に保持される、請求項1に記載のディスペンサ。